

# コベネフィット・アプローチ

## 開発途上国の気候変動対策の推進に向けて



### 関連資料

コベネフィット・アプローチ：<http://www.kyomecha.org/cobene/index.html>

各種支援ツール：<http://www.kyomecha.org/cobene/tools.html>

リンク集：<http://www.kyomecha.org/cobene/link.html>



環境省

チャレンジ  
未来が変わる。  
日本が変わる。

〒100-8975 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2

地球環境局 地球温暖化対策課

市場メカニズム室

Tel: 03-5521-8354

Email: [chikyu-ondanka@env.go.jp](mailto:chikyu-ondanka@env.go.jp)

水・大気環境局

水・大気環境国際協力推進室

Tel: 03-5521-8289

Email: [mizu-taiki-kokusai@env.go.jp](mailto:mizu-taiki-kokusai@env.go.jp)

2011年3月

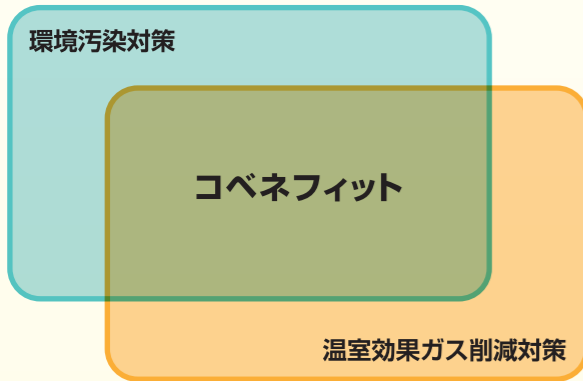


環境省

# コベネフィット型温暖化対策

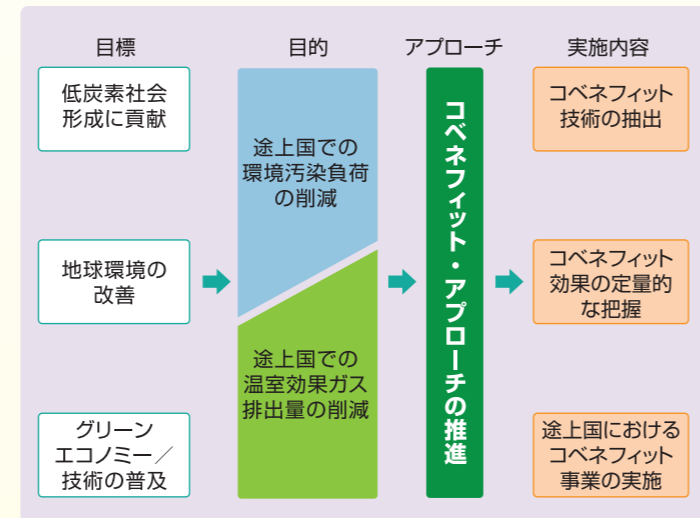
コベネフィット型温暖化対策とは、途上国において課題となっている環境汚染対策と、地球規模で必要性が高まっている温室効果ガスの排出削減とを同時に実現することのできる対策を指す。日本はコベネフィット型温暖化対策を重要な政策課題と位置づけてきた。

具体的な事例としては、火力発電所の効率改善による大気汚染対策と温室効果ガス排出削減の実現、排水処理時のメタン回収・発電利用による水質汚濁対策と温室効果ガス排出削減の実現、公共交通網の整備による大気汚染対策と温室効果ガス排出削減などが挙げられる。



# コベネフィット型温暖化対策への取り組み

日本環境省は、コベネフィット型温暖化対策の重点対象地域としてアジア各国を中心に、コベネフィット・アプローチの推進に尽力している。具体的にはコベネフィット型温暖化対策に資する技術の抽出や、コベネフィット効果の定量的な把握に資するツールの開発、更に、実際にコベネフィット技術を用いた温暖化対策の実施などを行ってきている。



# 二国間協力

コベネフィット・アプローチを推進するために、日本環境省は、中国およびインドネシア両国の環境大臣との間で、コベネフィット・アプローチ推進に向けた二国間協力に関する合意を結び、協力を行っている。

## 【中国との協力】



湘潭市における人材育成研修

四川省攀枝花市を対象として、環境汚染物質削減計画に係るコベネフィット効果の共同研究や人材育成研修を実施。2010年の協力として、湖南省湘潭市を対象とし、共同研究や人材育成研修を実施中。

## 【インドネシアとの協力】

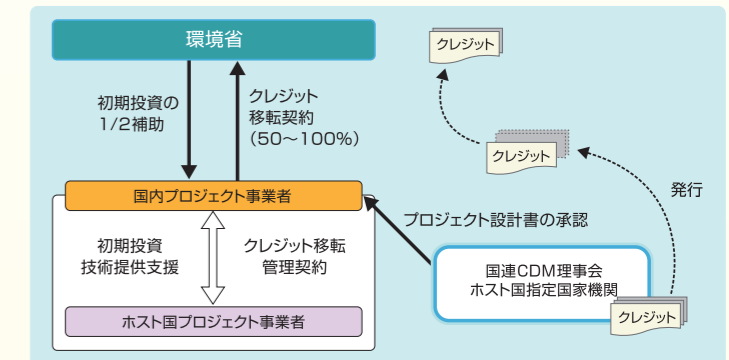
バンジャルマシン市の最終処分場及びパレンバン市の屠殺場を対象として事業を実施した場合の、コベネフィット効果を検討。



廃棄物の投棄状況と浸出水 (バンジャルマシン市の最終処分場)

# コベネフィットCDMモデル事業

大気汚染、水質汚濁等の環境問題が顕在化しつつある途上国において、日本の持つ環境技術を活用したコベネフィットCDMモデル事業を実施するための民間事業者への補助事業を2008年より実施している。本補助事業では、発生するクレジットの50%以上を国に無償移転することを条件に、コベネフィットを実現するCDMモデル事業の初期投資の1/2を補助する。



## 事例

- タイ エタノール工場排水からの発電用バイオガス事業 (2008~)
- 中国 重慶市セメント工場からの余熱回収発電事業 (2010~)

# コベネフィット型温暖化対策事例

## CASE 1 セメント工場からの余熱回収

セメント工場における乾式ロータリーキルンの余熱を回収し発電に利用することにより、石炭火力発電由来のSO<sub>2</sub>排出量を間接的に削減する。

### プロジェクトシナリオ



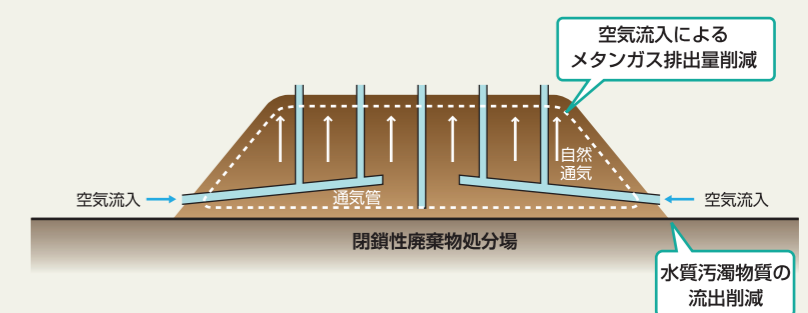
建設中の乾式ロータリーキルン (中国・重慶市)

## 大気分野

## CASE 3 閉鎖性処分場の温室効果ガス排出削減に伴う環境改善

嫌気状態にある閉鎖性廃棄物処分場を準好気状態に改善することによりCH<sub>4</sub>排出量を抑制し、かつ省エネルギー型の処分場とする。同時に、排出水の水質改善と悪臭発生の低減を図る。

### プロジェクトシナリオ



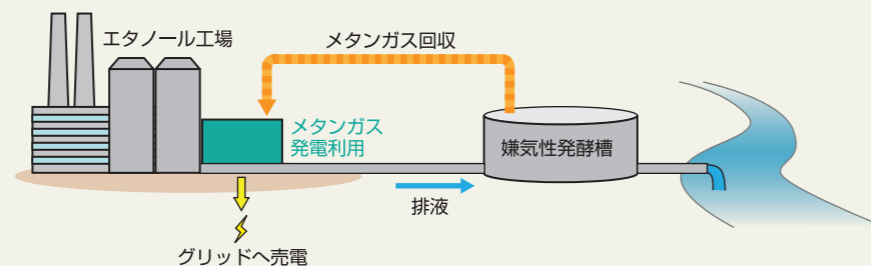
廃棄物処分場の現地調査 (マレーシア・ペナン州)

## 廃棄物分野

## CASE 2 エタノール工場排水からのバイオガス回収・発電

エタノール工場の排水を嫌気性発酵槽で処理することにより水質を改善し、発生するCH<sub>4</sub>を回収して発電に利用する。

### プロジェクトシナリオ



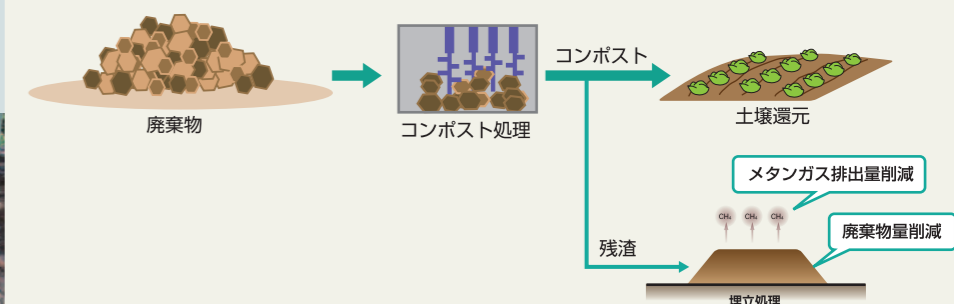
工場敷地内に広がる嫌気性オープンラグーン (タイ・アユタヤ県)

## 水分野

## CASE 4 廃棄物処分場へのコンポスト施設導入

廃棄物最終処分場にコンポスト施設を導入し、生ゴミを堆肥化することによりCH<sub>4</sub>排出量を抑制し、かつ処分場を延命化する。同時に、排出水の水質改善と悪臭発生の低減を図る。

### プロジェクトシナリオ



コンポスト処理 (インドネシア・バンジャルマシン市)

## 廃棄物分野